作成日　　2009年10月1日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

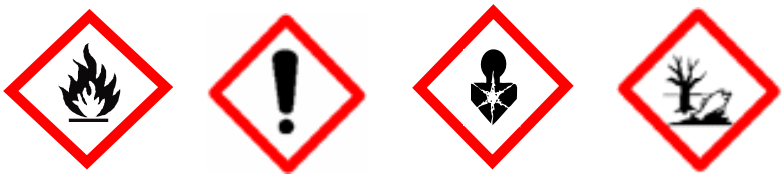
製品名　　ＭＲＧＰボンド
会社名　　クボタシーアイ株式会社
住所　　(〒556-8601)大阪市浪速区敷津東１－２－４７
担当部門　　品質保証部　堺品質保証課
電話番号　　０７２（２４５）８０２６
ＦＡＸ番号　　０７２（２４５）８２６８
緊急連絡先　　品質保証部　堺品質保証課
０７２（２４５）８０２６

２．危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
【ＧＨＳ分類】
物理化学的危険性
引火性液体　　：区分２
健康に対する有害性
急性毒性（経口）　　：区分外
急性毒性（経皮）　　：区分外
急性毒性（吸入：ガス）　　：区分外
急性毒性（吸入：蒸気）　　：区分外
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）　　：区分外
皮膚腐食性／刺激性　　：区分２
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　　：区分２Ａ
呼吸器感作性または皮膚感作性　　：区分外
生殖細胞変異原性　　：区分外
発がん性　　：区分外
生殖毒性　　：区分２
特定標的臓器毒性（単回暴露）　　：区分２（血液）
特定標的臓器毒性（単回暴露）　　：区分３（麻酔作用　気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復暴露）　　：区分２（血液）
吸引性呼吸器有害性　　：区分外
環境に対する有害性
水生環境急性有害性　　：区分１
水生環境慢性有害性　　：区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【ラベル要素】
絵表示またはシンボル



注意喚起語：危険
危険有害性情報
引火性の高い液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気及びめまいのおそれ
長期又は反復暴露による臓器障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
取扱い上の注意書き
予防対策
使用前に安全データシート、取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまでは取扱わないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト／蒸気／スプレーを吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
使用後は手をよく洗うこと。
容器を密閉しておくこと。
環境への放出を避けること。
接着剤用途以外には絶対使用しないこと。
対応
飲み込んだ場合は：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚等に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚に刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断・手当てを受けること。
吸引した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断・手当てを受けること。
漏出物は回収すること。
保管
涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
廃棄
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

３．組成・成分情報

単一製品・混合物の区分：　混合物
一般名　　：　スチレンイソプレン系接着剤

成分名	含有量	CAS NO.	化審法番号
シクロヘキサノン	65-75	110-82-7	(3)-2233
アセトン	0-10	67-64-1	(2)-542
ｽﾁﾚﾝｲｿﾌﾟﾚﾝ/粘着付与樹脂など	25-30	記載あり	登録済み

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合

直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ安静、保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

付着物をふき取り、水と石鹸でよく洗う。かゆみ、炎症などの症状がある場合は、速やかに医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深くよく洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

５．火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、泡。

使ってはならない消火剤

棒水。

特有の消火方法

付近の着火源を断ち、保護具を着用して風上より消火する。

消火を行う者の保護

消火の際は、空気呼吸器を含め適切な保護具（耐熱性）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。

漏出した場所の周辺に関係者以外立入りを禁止する。

付近の着火源を取除き、消火機材を準備する。

環境に関する注意事項

本製品を含む廃水の公共水域への排出または地下浸透を防止するため、本製品がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。

除去方法

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

火花を発生させない安全なシャベル等を使用する。

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。

吸入・接触のおそれがあるときは適切な保護具を着用する。

注意事項

局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。

安全取扱い注意事項

暴露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を避ける。

保管

適切な保管条件

直射日光を避け、容器は密栓して5～35℃で保管する。

その他、消防法、労働安全衛生法などの法令に定めるところに従う。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度 （厚生労働省）	許容濃度 （産衛学会） 2000年	ＡＣＧＩＨ （TLV-TWA） 1999年
シクロヘキサン	未設定	150 ppm	300 ppm
アセトン	500 ppm	200 ppm	500 ppm

設備対策

蒸気を吸入しないように、局所排気設備の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具　　有機ガス用防毒マスク
手の保護具　　ゴム手袋
眼の保護具　　側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具　　作業着、安全靴

適切な衛生対策

作業中は飲食、喫煙しない

９．物理的及び化学的性質

物理的状態

形状　：　粘稠液体
色　：　青色
比重　：　０．８２（25℃）
沸点　：　５６～８０．７℃（アセトン56℃、ｃ-ヘキサン80.7℃）
引火点　：　－２０～－１９１６２℃　（アセトン-19℃、ｃ-ヘキサン-20℃）
発火点　：　２６０℃以上　（アセトン538℃、ｃ-ヘキサン260℃）
蒸気圧　：　含有する溶剤は揮発性あり
蒸気密度：　空気より大
水への溶解性：　不揮発分･･･不溶、アセトン･･･可溶、c-ヘキサン･･･不溶

１０．安定性及び反応性

化学的安定性

通常の取り扱い条件においては安定

反応性

特記すべき反応性なし

避けるべき材料

通気性のある材料、使用有機溶剤に可溶性の材料

危険有害な分解生成物

データなし

１１．有害性情報

急性毒性

含有成分のラット経口ＬＤ$_{50}$値は次の通り

成分名	ＬＤ$_{50}$値（ラット経口）
シクロヘキサン	12,705　mg/kg
アセトン	5,800　mg/kg
ｽﾁﾚﾝｲｿﾌﾟﾚﾝ/粘着付与樹脂等	データなし

局所効果

含有する有機溶剤は、眼に対して刺激性がある。
皮膚に対しても繰り返し接触すると、皮膚の脱脂作用がある。

１２．環境影響情報

現在のところ知見なし。

１３．廃棄上の注意

- 産業廃棄物（廃油と廃プラスチック類混合物）として許可を受けた専門業者に処分を委託する。
- 乾燥して固形状になったものは、廃プラスチック類として処理する。
- 空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去しておく。

１４．輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ転倒、落下、損傷のない様に積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

火気厳禁。

国内規制

陸上輸送　　消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従うこと。

海上輸送　　船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。

航空輸送　　航空法に定められている輸送方法に従うこと。

国連分類　　クラス３（引火性液体）

国連番号　　１１３３（接着剤：引火性液体を含有するもの）

１５．適用法令

化学物質排出把握管理促進法　ＰＲＴＲ法）

該当物質なし

消防法

第2条危険物第4類第1石油類

労働安全衛生法

施行令別表第1危険物（引火性の物）

有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号（第2種有機溶剤）

法57条の2　通知対象物

シクロヘキサン　　政令番号　第232番

アセトン　　政令番号　第 17番

船舶安全法

危規則危険物告示別表第5引火性液体類

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第3引火性液体

港則法

施行規則第12条危険物告示引火性液体

１６．その他の情報

参考文献

製品安全データシートの作成指針（改訂版）　＝社団法人日本化学工業協会＝

労働安全衛生法対象物質全データ　＝化学工業日報社＝

化学物質管理促進法全データ　＝化学工業日報社＝

毒物劇物取扱いの手引き　＝時事通信社＝

製造会社発行の安全データシート

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。なお、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。